

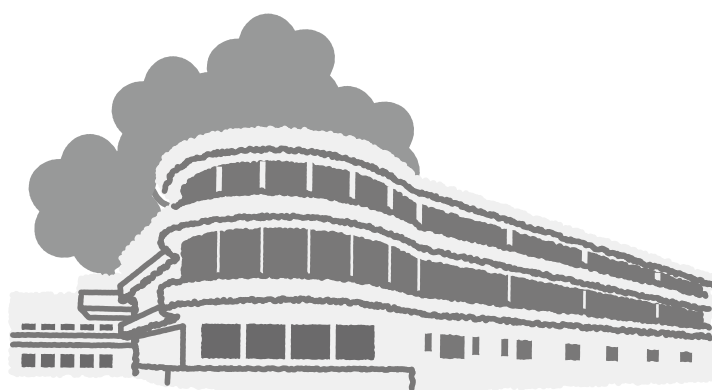
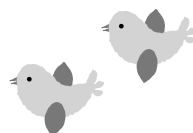
甲 寿 園 だ よ り

平成27 年度年報

平成27 年度事業報告

平成28 年度事業計画





平成27年度年報

平成27年度事業報告
平成28年度事業計画



目次

平成 27 年度年報発刊にあたって 園長 狭間 孝	3
法人理念	4
平成 27 年度 事業報告（法人本部）	6
平成 27 年度 事業報告（高齢者福祉施設事業報告）	12
平成 27 年度 事業報告（甲寿園）	13
決算報告	20
予算概要	21
利用者の状況	22
甲寿園歳時記	24
各フロアのまとめ 南館 2 階	26
南館 3 階	26
北館 2 階	27
北館 3 階	28
ケアプラン室	29
栄養室	30
看護課	32
リハビリテーション・作業療法室より	
平成 27 年度リハビリテーション室まとめ	33
在宅福祉関係の事業報告 居宅介護支援事業	36
短期入所生活介護事業ショートステイ	36
通所介護事業デイサービス	37
委員会のまとめ 感染対策委員会	39
身体拘束廃止委員会	40
安全衛生委員会	41
防災委員会	41
PC 委員会	42
リスクマネジメント委員会	43
排泄委員会 まとめ	44
研修委員会	44
ボランティア・クラブ活動の状況	46
職員の研修状況	49
実習生の受け入れ状況	50
苦情相談受付及び解決状況の結果報告	51
永年勤続・ボランティア活動表彰	52
寄贈一覧	53
職員の状況	54
写真で振り返る甲寿園の 1 年	55
平成 27 年度 天皇陛下御下賜金伝達式	59
南館 1 階 他改修工事報告	60
平成 28 年度 事業計画（法人本部）	62
平成 28 年度 事業計画（高齢者福祉施設事業）	65
平成 28 年度 事業計画（甲寿園）	66
防火管理体制と災害発生時の業務分担	70
甲寿園組織図	71
平成 28 年度 年間行事予定	72
平成 28 年度 カレンダー 2016 年	74
甲寿園の沿革	75
実践研究発表	78

職員が一丸となって

法人常務理事・園長
狭間 孝



平成27年度は、介護報酬改定の年となりました。甲寿園では、マイナス改定による事業減収を職員が一丸となってより良い介護、丁寧な在宅支援を行うことで、利用者、入居者数を安定的に増加することができました。

事業計画の推進では、南館1階他改修工事を行いました。工事内容は、南館1階のデイサービスセンター専用の玄関の設置及びデイサービス居住環境の整備、デイサービス前の機械室を外部に移設し、わいわい広場（多目的室）とアクティブルームとして活用できるようになりました。また、医務室を23年ぶりに改修しました。わいわい広場は、近隣住民の皆様に活用をして頂くことができるようになりました。

平成27年12月23日、天皇誕生日に際し、社会福祉事業奨励のため、事業運営が良好な民間社会福祉事業施設・団体（全国67施設・団体）に対し、天皇陛下より金員が下賜されます。

兵庫県において、甲寿園が「御下賜金」を賜りました。拝受理由として（1）開設以来、長期にわたり適切な運営が行われている。（2）施設を地域の福祉資源として開放し、地域自治会、幼稚園、保育園との積極的な交流を行っている。（3）大雨土砂災害時の避難所の指定を受けており、地域の安全・安心に寄与している。このことが拝受理由となります。御下賜金拝領という栄誉を賜ることは、職員一同、感謝と感激で心が満ち溢れました。

12月21日、あいあいホールにて天皇陛下御下賜金伝達式を兵庫県、国会議員、県議会、市議会、法人関係者、多数の皆様にご出席頂き、執り行いました。甲寿園の入居者、利用者、職員に、「御下賜金拝受記念」として紅白饅頭を配らせて頂きました。

平成27年下半年は、慌ただしく過ぎ、年の瀬の恒例となる新語・流行語では、外国人観光客の中でも中国からの訪日客の「爆買い」プロ野球で65年ぶりに二人そろっての「トリプルスリー」笑いの中からは「安心してください、穿いてますよ」アベノミクスでは「一億総活躍社会」東京オリンピックがらみの「エンブレム」などがありました。私の中ではラグビーワールドカップでの南アフリカ戦劇的勝利、正確なゴールキックの前に行うルーティンポーズ「五郎丸（ポーズ）」が一番でした。

日本レコード大賞は、三代目 J Soul Brothers from EXILE TRIBEの「Unfair World」2年連続での受賞となりました。私のように少し年配の世代にとって、時代の流れについていくのが大変で、レコード大賞がわかりにくい時代になったような気がしています。（これは、私だけかもしれません）

一年の世相を表す今年の漢字に「安」が選ばれ、清水寺・森清範貫主が揮毫しました。「安」倍政権の下、「安」全保障関連法案を採決し、戦後70年の節目を迎え、これからの国の平「安」を皆が考えた年でありました。世界各地で起きたテロ事件や異常気象などで人々を不「安」にさせたこともありました。

過去を表わす漢字ではなく、「来年はこうきたい」という未来志向の一字では、私は、「福」だと考えました。「福祉」が再び重要な政策、制度として国策となるように、「福祉」を学ぶこと、そして、介護を職業として若い世代から選んで頂けるように、現在の私たちが介護を行うことの魅力を発信することが大切なのだと思います。

介護現場の職員が生き生きと目を輝かせながら働くことができる環境を私たちは作り上げ、社会に発信する手段としてこの事業報告集が活用されればと願い、皆様に平成27年度「年報」をお届けいたします。皆様に感謝！

理 念

Philosophy

人 が、
として
とともに 豊かに生きる

We live and enhance life together as human beings

基本方針

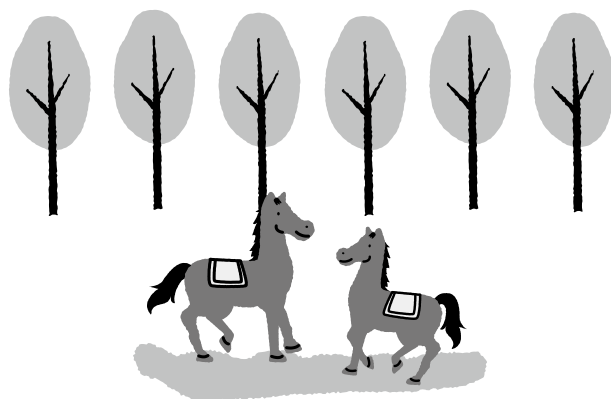
- 1 わたくし達は人との出会いを大切にします
- 2 わたくし達は思いやりと謙虚な気持ちを大切にします
- 3 わたくし達は個人を尊重し心優しい援助に努めます
- 4 わたくし達は社会福祉に貢献できるよう資質の向上に努めます
- 5 わたくし達は地域との信頼を深め開かれた施設運営に努めます

Policy

- 1 We treasure our encounters with each other.
- 2 We cherish sympathy, charity and humility.
- 3 We respect individuals and support them tenderly.
- 4 We develop qualities to contribute to the welfare of society.
- 5 We deepen mutual trust with local communities.

平成27年度

事業報告





平成27年度 事業報告

法人本部

はじめに

安井さくら保育園の改築工事は5月の連休明けから仮設園舎での保育を開始しました。6月12日午前10時30分より多くの皆様のご出席をいただき地鎮祭を執り行いました。建設工事は予定通り進行し平成28年2月29日に引渡し、3月1日午前10時より竣工式並びに内覧会を開催しました。安井保育園の分園であった安井さくら保育園は平成28年4月より夙川さくら保育園（本園）としての運営を開始することとなりました。

継続審議となっていました「社会福祉法等の一部改正法」は、平成28年3月31日に可決成立しました。主として「事業運営の透明性の向上」「財務規律の強化」「地域における公益的な取組を実施する責務」「行政の関与の在り方」「社会福祉施設退職手当共済制度の見直し」等に具体的な改正事項が盛り込まれることとなりました。平成28年度は改正事項等に対して対応を検討していく年度となります。

平成27年度は介護報酬等の減額改定の年度でした。平成27年10月14日に福祉医療機構が発表した「介護報酬改定等の影響に関するアンケート調査」の結果では、平成27年度の介護報酬改定の影響などで特別養護老人ホームの7割が平成26年度と比べて4月以降のサービス活動収益が減少したと回答していると報告されました。当法人の高齢関係の事業においては、利用率のアップや各種加算の取得などにより昨年度と比較して減収とはなっていません。

法人本部の積立金について、第3次補正予算において目的に応じた組み換えを行うとともに、西宮すなご医療福祉センターからの預り金で、流動資産として保有していた1,026,000,000円のうち、926,000,000円を「長期預り金積立金」として積み立てました。

7月に西宮市が公募した「西宮市地域子育て支援拠点事業運営団体の募集」に応募し、9月に決定通知を受け、平成28年1月12日より西宮市地域子育て支援拠点事業「あいあい広場」の運営を開始しました。

人材確保では職員採用試験において昨年度と同等の職員の採用を行うことが出来ました。職員処遇においては定期昇給を行い、賞与を夏期・冬期合わせて4.42カ月分を支給しました。

「マイナンバー制度」への対応はクラウド機能を活用して平成28年1月より従業員等のマイナンバーの収集と管理を始めました。

1. 事業計画

1) 各事業の安定的経営と事業拡大

事業計画推進のため事務局機能を強化し、次のことに重点を置き引き続き取り組みます。

(ア) 収入に関しては、各事業所の数値目標に対して各月で推移を把握し安定した収入が確保できるように対策を講じます。

⇒各月の1回目の経営協議会において「集計表」と「推移表」を基に報告を行い、現状と課題等について協議しました。

(イ) 支出は法人本部と各事業所が連携して経費節減に努めます。

⇒経営協議会や甲山地区施設連絡協議会等において情報交換を行い経費節減対策を実施しています。水道使用量を節減するため節水システムをレンタルで西宮すなご医療福祉センター、甲寿園、にしのみや苑で導入しました。

(ウ) 会計の一元化にもとづく各事業所の経営分析を行います。

平成27年度 決算<収入>

	全体	すなご	甲寿園	北山学園	にしのみや苑	芦原デイサービス	安井	総合相談
収入	4,621,081,914	2,520,891,982	889,768,164	139,337,657	390,195,925	234,411,142	318,432,619	118,069,485
平成26年度	4,426,130,121	2,469,398,435	855,542,013	127,284,127	366,951,911	213,089,207	277,188,935	107,465,246
差	194,951,793	51,493,547	34,221,151	12,053,530	23,244,014	21,321,935	41,243,684	10,604,239
率	104%	102%	104%	109%	106%	110%	115%	110%

(全体の数字は法人本部を含めています)

⇒平成27年度法人全体の収入は4,621,081,914円となりました。昨年度との対比では104%となっています。

平成 27 年度 決算《支出》

	全体	すなご	甲寿園	北山学園	にしのみや苑	芦原デイスサービス	安井	総合相談
人件費支出	3,273,450,136	1,817,113,559	593,609,476	102,714,959	249,255,989	166,257,962	200,194,658	92,313,279
事業費支出	602,998,333	293,781,705	147,838,770	19,793,961	63,703,207	31,581,954	38,329,781	4,481,434
事務費支出	415,506,434	173,335,335	82,141,740	10,593,871	38,360,425	25,934,551	54,241,540	13,660,174
合計	4,439,703,134	2,356,003,505	872,124,554	136,132,607	363,905,716	226,188,271	294,367,444	115,968,502
人件費比率	71%	72%	67%	74%	64%	71%	63%	78%

(全体の数字は法人本部を含めています)

⇒平成27年度法人全体の支出は4,439,703,134円となりました。昨年度との対比では166,875,923円増となっています。

収入に対する人件費比率は71%となっています。

平成 26 年度 決算《支出》

	全体	すなご	甲寿園	北山学園	にしのみや苑	芦原デイスサービス	安井	総合相談
人件費支出	3,143,742,240	1,776,010,396	554,123,367	97,845,416	244,242,624	149,995,400	184,445,596	85,158,663
事業費支出	581,350,528	284,965,470	152,195,393	15,071,308	63,310,762	30,533,321	28,169,541	3,271,570
事務費支出	388,991,499	161,449,156	76,291,194	9,636,997	39,305,138	20,979,296	40,130,955	13,176,929
合計	4,272,827,211	2,289,061,283	827,358,717	124,832,655	355,422,412	205,520,618	277,578,322	107,068,287
人件費比率	71%	72%	65%	77%	67%	70%	66%	79%

(エ) 安井さくら保育園本園化の改築工事を進めます。

⇒平成27年5月7日より仮設園舎での保育を開始しました。平成27年6月12日に地鎮祭を挙行し、工事は順調に進行し平成28年2月29日に引渡し、3月1日に竣工式を開催し55名の皆さんにご参いただきました。

平成28年3月7日から子ども達の新園舎での保育が始まりました。安井保育園の分園であった安井さくら保育園は平成28年4月1日より夙川さくら保育園(本園)として運営を開始しました。

(オ) 障害福祉分野、高齢福祉分野において、西宮市が福祉サービス向上のため計画する事業には参加を検討します。

⇒障害福祉分野、高齢福祉分野において新規事業への着手はありませんでした。

7月25日に西宮市が公募した「西宮市地域子育て支援拠点事業の実施団体募集」に応募し、9月30日に実施団体指定決定通知を受けました。西宮市地域子育て支援拠点事業「あいあい広場」は平成28年1月12日より週3回(火・水・木)、1日5時間の運営内容で開始しました。

2) 事務局の役割の強化

事業計画推進のため事務局機能を強化し、次のことに重点を置き引き続き取り組みます。

(ア) 法人本部に人事を一元的に統括する部門(人事部等)の設置を進めます。

⇒人事部の設置には至っていません。各施設長と法人本部が連携し、人事調書や希望調書などの基礎データに基づき人事を検討しました。

(イ) 法人事務局における財務部門の強化経理事務の統括と経営分析による資料を作成します。法人全体の積立金の位置付けを明確化し財務計画を作成します。ホームページにおいて、財務諸表の公開等さらに情報公開を進めます。

⇒経理事務の合理化等については、経理ソフトの選定委員会を設置し、経理ソフトのデモンストレーションを実施しました。現在使用しているNDソフトウェアの経理ソフトをカスタマイズしバージョンアップすることで経営分析の機能を向上させていく予定でしたが、業者より対応が困難であるとの返答があり、改めて平成28年度に対応を検討することとしました。

積立金の位置付けの明確化は作業を進めました。

ホームページによる財務諸表の公開は実施しました。

法人の積立金の状況 (平成 28 年 3 月 31 日現在)

	全体	法人本部	すなご	甲寿園	にしのみや苑	芦原デイスサービス	安井保育園	総合相談
積立金合計	2,437,590,000	1,054,200,000	904,200,000	265,133,000	101,800,000	30,557,000	78,700,000	3,000,000
長期預り金積立金	926,000,000	926,000,000						
再建築積立金	454,900,000	15,700,000	419,200,000	20,000,000				
建築積立金	94,000,000	94,000,000						
人件費積立金	427,330,000		250,000,000	131,873,000	38,000,000	3,257,000	4,200,000	
修繕積立金	332,160,000	9,500,000	125,000,000	82,860,000	50,300,000	20,000,000	41,500,000	3,000,000
備品等購入積立金	175,200,000	9,000,000	110,000,000	30,400,000	13,500,000	7,300,000	5,000,000	
保育所・施設設備整備積立金	28,000,000						28,000,000	

- (ウ) 法人規程集の整備を進めます。
⇒規程集の整備については弁護士に委託して点検を行いました。改正が必要な点等について指摘をいただきました。
- (エ) 法人内における福利厚生制度の調整と統一を進めます。
⇒経営協議会での協議を通じて進めています。

3) 経営・運営会議の開催

- (ア) 理事会・評議員会は4回開催します。法人の安定した経営のため、事業計画・予算・事業報告・決算、大型修繕計画、新規事業の開始等について審議を行います。
⇒理事会は5回開催しました。評議員会は4回開催しました。
- (イ) 常勤役員会を定期的に開催し法人全体の事業運営の諸課題について協議します。
⇒週1回木曜日の定例会議を軸として開催しています。今年度は41回開催しました。
- (ウ) 経営協議会を月2回以上開催し、日常の運営上の諸課題について協議します。
⇒第1金曜日と第3火曜日の定例会議を軸として開催しています。今年度は24回開催しました。
- (エ) 専門部会（事務担当部会、栄養・給食担当部会、研修担当部会、広報活動部会、危機管理・防災対策部会、ボランティア支援部会、地域貢献活動支援部会）、事業種別連絡協議会、甲山地区施設連絡協議会、介護職員初任者研修運営委員会を定期開催し、各種事業の交流・情報交換を行い、課題を分析し、検討、提案を行います。
⇒会議の開催状況

事務 担当部会	栄養・給食 担当部会	研修 担当部会	広報 活動部会	危機管理・ 防災対策部会	ボランティア 支援部会	地域貢献 支援部会
4回	4回	12回	3回	3回	3回	3回

4) 監事監査・内部監査・第三者評価

- (ア) 中間監事監査を11月、決算監事監査を5月に行い、事業及び財務状況の点検、監査、及査及び指導を受け、法人事業の経営改善を行い健全な運営を行います。
⇒平成26年度決算監事監査は平成27年5月14日（木）に実施しました。
平成27年度中間監事監査は平成27年11月18日（水）に実施しました。
今年度は芦原デイサービスセンターとにしのみや苑で中間監事監査を行いました。
- (イ) 適正な運営と職員間の相互牽制のため、全事業の内部監査を実施します。
⇒内部監査は平成28年1月25日に甲寿園と安井保育園、総合相談支援センターで実施し、28日に西宮すなご医療福祉センターと北山学園、法人事務局で実施しました。
- (ウ) 第三者評価の未実施事業所は実施する準備を進めます。
⇒夙川さくら保育園は来年度実施する方向で進めています。
- (エ) 合同苦情解決委員会を年1回（2月）開催します。
⇒平成28年2月26日に開催しました。
苦情解決第三者委員6名全員出席され開催しました。苦情報告件数は28件でした。

5) 人材確保

- (ア) 採用、研修、異動など職員の人事管理の一元化を進めます。
人事制度の課題の抽出（個人情報データのデータ化と管理の徹底）に取り組みます。
⇒職員採用試験は5回実施しました。採用者は21名（学校推薦等を含む）となっています。
7月には登用試験も実施し4名を正規職員に登用しました。

（内訳）

西宮すなご医療 福祉センター	甲寿園	北山学園	安井保育園
11名	4名	1名	5名

- (イ) 新規卒業者の人材の確保のために、大学、専門学校訪問等を行います。
兵庫県社会福祉協議会が主催する就職フェア（年3回）に参加します。
人材育成・確保に関して総合支援型実習の受入等、日本福祉大学と連携していきます。
⇒学校訪問は高校、大学（短大含む）、専門学校合わせて24校訪問しました。
平成27年度福祉の就職フェア in HYOGO には応募多数のため参加できませんでした。
今年度、日本福祉大学の総合支援型実習は希望者がなく実施していません。

6) 人材育成、職員研修

- (ア) 研修体制の充実を図り、人材の育成を進めます。
研修システムの体系化等に取り組みます。
⇒法人研修部会を定期的に開催し、研修の充実を図っています。
今年度は法人合同研修として「虐待」をテーマに取り上げ、高齢分野と児童・障害の分野で2回の研修会を実施しました。
関係機関が主催する役員対象の研修会への参加を進めるとともに、幹部の養成のための研修会への参加を進めます。社会福祉施設長資格認定講習課程の受講を計画的に進めます。
⇒今年度は1名が受講しました。
- (イ) 第15回法人職員合同実践研究発表会（11月15日）を開催し、職員の研究・研修の充実を図り交流を進めます。
⇒11月15日（日）に大手前大学に於いて開催しました。参加者は130名でした。また、特別講演として独立行政法人国立病院機構副理事長の古都賢一氏を招いて「これからの社会福祉法人」と題して講演をしていただきました。
- (ウ) 職員研修・勉強会を開催し、業務上必要な各種の資格取得を奨励します。
⇒各施設で研修、勉強会を開催し資格取得を奨励しています。
- (エ) 日本福祉大学、武庫川女子大学大学院等と連携して、福祉人材養成を行います。
⇒日本福祉大学の総合支援型実習は希望者がなく今年度は実施していません。
- (オ) 法人として海外研修の実施に取り組みます。（参加者への補助）
⇒今年度は実施しませんでした。

7) 防災対策

- (ア) 災害発生時に対応できるように各施設の特長に応じた災害対策マニュアルの整備を進めます。
⇒専門部会として危機管理・防災対策部会を設け法人全体としての危機管理・防災対策について協議しています。
- (イ) 災害発生時には各施設の利用者のみならず地域住民の支援に協力できるように、備蓄物品の整備等、体制整備を進めます。甲山地区においては3園合同での防災訓練を実施します。
⇒備蓄物品等の整備は各施設において点検等順次整備を進めています。甲山地区では甲寿園とにしのみや苑での夜間想定防火訓練は実施しましたが、北山学園を交えての3園合同訓練は実施できませんでした。
- (ウ) 各施設及び法人全体として事業継続計画の作成を進めます。
⇒事業継続計画の作成については完了していません。引き続き、危機管理・防災対策部会を中心として整備を進めていきます。
- (エ) 日本福祉大学提携社会福祉法人の災害時ネットワークの対応を周知します。
⇒危機管理・防災対策部会を通じて周知しました。

8) 中・長期計画、地域貢献活動

- (ア) 中・長期計画については、実施状況の点検を行うとともに、各施設において方針の再構築を進めます。
⇒中長期計画の実施状況の点検を行いました。方針の再構築については経営協議会を通じて行っていくこととします。

(イ) 介護職員初任者研修課程を実施します。

⇒今年度は10月3日(土)に開講しました。今年度の受講者数は8名でした。全員が修了されました。

(ウ) 社会福祉事業の啓発活動やボランティアの育成活動などを各施設と連携して行うとともに、新たな地域貢献事業に着手するため、専門部会等でニーズ把握を行うなど検討を始めます。

⇒各専門部会の方で検討を進めていきました。

9) 専門部会

(ア) 事務担当部会では経理部門を中心に新しい会計ソフトを導入します。

⇒会計ソフトに関しては現在使用している会計ソフトをカスタマイズすることで検討を進めましたが、業者より対応が困難であるとの返答があったため、次年度に改めて検討を行うこととしました。

(イ) 栄養・給食担当部会では情報共有し、各施設で協力できる体制作りを進めます。

地域や在宅に向けての講習会等を計画します。

⇒給食材料が高騰する中、利用者により良い給食を少しでも安く提供できるよう給食材料の取引業者等について情報交換を行いました。各施設の保存食及び備蓄品について、体制や今後の課題について協議を行いました。

(ウ) 研修担当部会では今年度は虐待をテーマにした法人職員研修を実施します。

新任職員研修、フォローアップ研修、職員施設間交換研修、役職者研修、法人職員合同実践研究発表会を実施します。

⇒施設間職員交換研修は23名の職員が研修に参加しました。

新任役職者研修を6月19日に実施しました。27名が参加しました。

分野別法人合同研修は虐待に関するテーマで実施しました。高齢分野は8月5日に行い71名が参加し、児童障害分野は12月10日に行い61名が参加しました。

新任職員フォローアップ研修は10月23日に実施し22名が参加しました。

役職者研修は1月22日、2月19日、3月18日の3回に分けて実施しました。3回合わせて109名が参加しました。

新任職員研修は平成28年3月28日から30日まで、3日間実施しました。

(エ) 広報活動部会は、甲山福祉センターの理念を具現化した各事業の取り組みを地域社会に知らせる取り組みを進めます。パンフレット等を充実させ事業の広報を進めます。

⇒各施設の広報活動等の状況確認を行うとともに協議を行いました。特にホームページについては更新の状況をチェックし更新を呼びかけていきました。

(オ) 危機管理・防災対策部会では福祉避難所協定を結んだ施設における衛星電話や防災用ヘルメット等、防災備品・機器等の整備を進めます。事業継続計画の作成に取り組むとともに、各施設では図上訓練を実施します。

⇒防災ヘルメットは購入しました。衛星電話は購入できていません。防災マニュアルのチェック等を行い、食品備蓄内容等の検討を行うこととなりました。図上訓練は3月2日に行いました。事業継続計画については引き続き作成に取り組めます。

(カ) ボランティア支援部会は、地域の福祉人材育成を課題として、ボランティアの育成推進、実習生の受入れの質と量の拡充を目指す取り組みを進めます。

⇒各施設のボランティアの実施状況の一覧表を作成しました。

(キ) 地域貢献活動支援部会は新たな地域貢献事業の取り組みに向けた調査活動を進めます。

⇒平成27年11月15日に開催した第15回法人職員合同実践研究発表会において、独立行政法人国立病院機構副理事長の古都賢一氏を招いて「社会福祉法人のこれから」というテーマで講演を行いました。

「人と防災未来センター」の宇田川真之氏に地域防災について講演依頼し承諾を得ていましたが、日程の関係で次年度に実施することとなりました。

10) その他

(ア) 労働環境の改善をすすめ、職員の健康管理の課題に引き続き取り組みます。

メンタルヘルス対策を法人全体の課題として検討を進めます。

⇒労働環境の改善は安全衛生委員会を通じて課題を明らかにして改善に取り組んでいます。

職員の一般健康診断を健診機関を外部委託し充実と合理化を進めました。

(イ) 永年勤続表彰(10年、20年、30年、40年)を行います。

⇒平成27年度永年勤続表彰は11月15日(日)に実施しました。

今年度の表彰者は10年表彰が14名、20年表彰が2名、40年表彰が1名でした。

(ウ) 各施設の事業報告集を7月に発行します。

⇒月に発行できなかった施設もありましたが9月には全施設事業報告集が完成しました。

(エ) 引き続き甲山地区の駐車場の整備を進めます。甲山地区の法人・施設の看板をリニューアルします。

⇒駐車場については北山学園の園庭に面した駐車場の改修工事を6月上旬に実施しました。

甲山地区看板改修設置工事は平成28年2月に実施しました。

(オ) 職員の給与

①職員給与は、定期昇給を実施しました。

②賞与は、4.42ヵ月分を支給しました。

夏期2.05ヵ月

冬期2.37ヵ月

③嘱託職員の賞与は、夏期は日給の23日分、冬期は22日分プラス契約期間加算を支給しました。

④処遇改善加算手当は月額12,000円支給しました。

2. 職員の状況 (平成28年3月31日現在 総計721名)

職 種	在職職員数			
	正規	嘱託	パート	合計
医 師	6	5		11(11)名
看 護 職	104	4	28	136(144)名
医 療 職	38	1	12	51(46)名
福祉介護職	236	64	100	400(399)名
福祉相談職	30	4	1	35(28)名
事 務 職	34	4	3	41(39)名
そ の 他	14	14	19	47(47)名
合 計	462	96	163	721(714)名

* () 内は平成27年3月31日現在

*看護職(看護師、准看護師)

*医療職(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、薬剤師、栄養士、臨床検査技師、放射線技師、臨床心理士)

*福祉介護職(指導員、援助員、介護福祉士、保育士、療育員、ヘルパー等)

*事務職(事務員、施設長等)

(前年度)

施設別職員数	正規	嘱託	パート	合計
西宮すなご医療福祉センター	268	16	46	330(338)名
甲寿園	84	26	37	147(142)名
北山学園	15	4	8	27(27)名
にしのみや苑	36	9	15	60(62)名
芦原デイサービスセンター	14	16	15	45(43)名
安井保育園	14	13	12	39(37)名
安井さくら保育園	9	5	4	18(13)名
夙川さくらんぼ保育園	3	3	5	11(10)名
総合相談支援センター	13	4	20	37(35)名
法人事務局	6	0	1	7(7)名
合計	462	96	163	721(714)名

(前年度)

障害者雇用の状況 (平成28年3月31日現在)

	正 規	嘱 託	パート	計
身 体 障 害	5	3	1	9(6)名
知 的 障 害	0	0	4	4(4)名
精 神 障 害	0	1	2	3(3)名
計	5	4	7	16(13)名

(前年度)